

広報業務計画



各種広報媒体を用い、イベント情報や施設情報を、広く、分かりやすく市民へ提供し、来場促進に繋がる広報活動を実施します。

施設としての札幌ドーム、企業としての札幌ドーム双方の情報を正確に開示します。

1 広報誌

札幌ドーム広報誌「札幌ドーム ドームニュース」

来場促進および利便性の提供を図るため、「ドームニュース」を隔月発行し、市内主要公共施設、道内主要JR駅および近隣世帯への設置・配布を行います。

◆位置付け

市民・道民向けの広報誌

◆発行日／部数

- 年6回（隔月1回）定期発行
- 約2万部／回

◆配布先

札幌ドーム内各施設、札幌市役所、
各区役所・区民センター、近隣世帯等

◆内容

- イベント予定（開場・開始時刻）○札幌ドームからのお知らせ（随時）
- イベントに伴う交通案内等（シャトルバス運行有無、駐車場営業予定）
- 営業予定（観光、商業施設、トレーニングルーム）、施設案内

表 裏



2 WEBサイト

札幌ドームWEBサイト



アクセシビリティおよびユニバーサルデザインの考えに基づき管理するとともに、総務省作成の「みんなの公共サイトガイドライン」「札幌市公式ホームページガイドライン」を取り組み、多くの皆さまにご活用いただけるよう、より身近で便利なウェブサイトとなるよう努めます。また、お客さまとの双方向コミュニケーションの場として活用します。

◆位置付け

インターネット上の情報ツール

◆アクセス数（2022年4月のリニューアル以降）

月間平均 約39.2万件

◆種類

PCサイト

(<https://www.sapporo-dome.co.jp/>)

※2022年3月よりレスポンシブデザイン

スマホ版

◆内容

○イベントスケジュール、ドーム営業予定、チケット情報

○施設概要、交通アクセス、座席図（検索機能あり）

○観光、飲食・物販情報

○サステイナビリティへの取り組み、施設改善事例

○会社概要、採用情報、決算情報 等



2 SNS (Twitter、YouTube、LINE)

札幌ドーム公式Twitter

市民や道内外の幅広い層の皆さんに、札幌ドームにより親しみを持っていただけるよう、お客さまとの双方向コミュニケーションツールとして活用します。

◆フォロワー数

5,628人（2022年9月現在）

◆内容

イベント・グルメ・サービスを中心にお客さまに寄り添える情報

◆利用開始

2020年10月より



札幌ドーム【公式】
@sapporodome_pr

札幌ドームの公式アカウントです。イベント・グルメ・サービス、その他もうろろ、つぶやいています。

◎ 札幌 sapporo-dome.co.jp 誕生日: 2001年6月2日

2020年10月からTwitterを利用しています

568 フォロー中 5,628 フォロワー



札幌ドーム公式 YouTube

札幌ドーム20周年をきっかけに運用を開始。動画を活用しより札幌ドームの魅力を分かりやすく発信します。

◆チャンネル登録者数

203名（2022年9月現在）

◆内容

場面転換動画、こども絵画展、20周年記念動画ほかドームの魅力を伝える動画

◆利用開始

2021年3月より

札幌ドーム公式 LINE

市民利用情報・イベント情報などを配信します。

※2022年3月まで実施のメールマガジン代替

ツール

◆登録者数

255名（2022年9月現在）

◆内容

主に市民利用・イベント情報

◆利用開始

2022年4月より

3 その他広報活動

◆報道機関を通じた広報活動

- 報道機関（市政記者クラブを含む報道各社）へのプレスリリース配信・パブリシティ取材の受入れによる新聞やテレビ、ラジオ、観光情報誌等での露出
- テレビ・ラジオ等を通じた各事業の告知

◆その他広報活動

- 貴市の広報媒体（地上波デジタル放送・アプリ）等への掲載

◆札幌ドーム来場者への広報活動

- 館内のポスタークース、コミュニケーションコーナー等へのチラシ設置
- メモリアルコーナーの展開

メモリアルコーナー

1階西ゲート付近（南北連絡通路内）にて、フランチャイズチームの歴史や2002FIFAワールドカップ、ファンを魅了したアーティストたちを振り返り、札幌ドームに寄贈された記念ボールやサイン色紙、手形、フランチャイズチームの記念品などを展示するもので、札幌ドームが開業した2001年6月からの歴史をご紹介しています。ご来場されたお客様に楽しんでいただき、また札幌ドームを身近に感じていただける取り組みとして2006年から実施し、随時展示物の入れ替えを行っています。

◆フランチャイズチーム紹介コーナー



◆記念品コーナー



4 札幌ドームの著作権の管理に関する業務

管理運営業務もしくはそれに付随する業務において、当社が札幌ドームを写真、模型、絵画、その他の媒体により表現する場合は、札幌ドームの設置目的を損なわないよう十分配慮します。また、第三者から著作権許諾の申し出があった場合は、利用目的・理由・利用方法等詳細を確認したうえで、許諾の可否を判断します。



5 公務等視察対応

札幌市を代表する公の施設として相応しい接遇を持って、国内外から来訪されるお客様へ、施設案内等の視察対応を行います。

◆お客様の視察目的に合わせ、説明内容・施設内の見学コースを組み立て、ご紹介しています。映像素材も利用し、施設概要を適切に理解いただけるよう努めます。

◆視察目的の一例

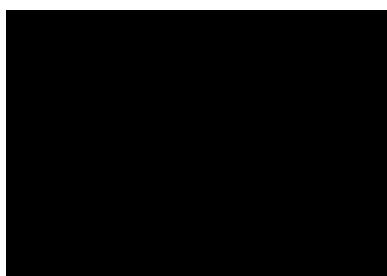
- 札幌ドームの概要（建設に至る経緯、建設費用、施設規模・特徴等）について
- 札幌ドームでの環境保護における取り組みについて
- 通年型多目的イベント会場としての利用状況について
- サッカー・ラグビーW杯、東京五輪、冬季アジア大会会場としての実績について

◆視察実績

- | | |
|-------------|----------------------------|
| ○2018年度：15件 | ブルガリア・ソフィア県、新潟市議会、台湾・高雄市 等 |
| ○2019年度： 4件 | 日本オリンピック委員会、韓国・大田広域市 他 |
| ○2020年度： 1件 | 札幌市議会 |
| ○2021年度： 0件 | ※新型コロナウイルス感染症拡大等によりすべて中止 |

◆視察の流れ
(一例)

| | |
|------|---|
| 約20分 | ①札幌ドームの施設概要について動画を用いて紹介 |
| | ②設立経緯、イベントの開催実績、環境への取り組み事例など、お客様のご要望に合わせてご説明。 |
| 約60分 | ③館内見学 アリーナ見学⇒地下2階イベント諸室⇒展望台⇒貴賓室 |
| 約10分 | ④質疑応答 |



自主事業実施計画



自主事業の実施における基本の方針

- ◆ 指定管理業務を補完するサービスを提供し、適正な対価を得ることで収益向上に繋げます。
- ◆ 施設を熟知する当社ならではのイベントを開催し、札幌ドームの設置目的を実現します。
- ◆ 札幌ドームの未来のお客さまを育てるとともに、貴市のまちづくりに貢献します。

料金・参加費についての考え方

指定管理事業の利用料金の考え方従い、イベントに付随する自主事業である飲食・物販・広告（ネーミングライツを含む）事業、有料の自主イベント等については、事業価値に見合った料金の設定を基本として、収益向上に繋げます。

一方、市民負担の低廉化に配慮した事業として、市民利用に付随する運動教室や展望台事業に付随するドームツアー事業については、参加しやすい料金を設定いたします。

自主事業に関する経理

自主事業に関する収支は、事業ごとに管理いたします。

目的外使用許可

札幌市公有財産規則等に基づき、自主事業実施に係る目的外使用許可申請を適宜、適切に行います。

その他

当社は、自主事業に係る責任を負うものと自覚し、以下の点に留意して業務を遂行します。

- ◆ 自主事業実施に伴う第三者との取引にあたっては、公の施設で自主事業を行う意義を含めて、施設使用に係る留意点等を当該事業者と共有します。
- ◆ 指定管理業務遂行に支障のないことを前提として、自主事業を行い、施設の原状復帰を確実に行います。
- ◆ 各種損害保険に加えて、当社および売店事業者さまが販売した商品に起因する賠償事故に備えて、生産物賠償責任保険にも加入いたします。

1 飲食事業

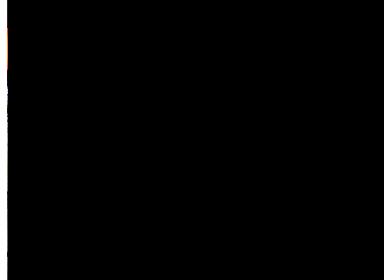
イベントにご来場されるお客さまにとって、イベントそのものが最大の楽しみですが、スタジアムグルメもイベントを成功させるための重要なコンテンツであり、お客さまの思い出として記憶に残ります。そのためにご来場されるお客さまの満足度を高めること、安全・安心で札幌ドームならではという特色のある売店の管理運営を行います。

4万のお客さまの食の安全を最優先して衛生管理を徹底した上で、お客さまのニーズを反映して、商品内容や価格帯を多様化させ、メニューや品ぞろえを充実させるとともに、オリジナル商品のご提供を行うことで、食のエンターテイメント性を高めます。さらに、お客さまと接するスタッフのサービスレベルを高める取り組みを積極的に進めます。札幌ドームにご来場されるお客さまの満足度を向上することで収益向上に繋げ、安定経営を支えます。

売店・ケータリングサービスの管理運営

下記店舗・売店での飲食販売について、専門事業者に委託し、管理運営を行います。各委託事業者さまと密に連携し、メニュー開発、サービス向上および衛生管理の徹底を図ります。

売店概要



◆コンコース・
VIPラウンジ売店
12ヶ所
(2023年4月想定)

◆ワゴン売店 12ヶ所
(2023年4月想定)
その他、イベントの性質に
応じて、弁当ワゴン、
テラスイベント等での屋外
販売、展示会等における
アリーナ内でのワゴン販売を
実施します。

◆ケータリングサービス
貴賓室やVIPラウンジ等での
特別メニュー等を主催者からの
要望に応じてご提供しています。

POSシステムの活用

館内全ての飲食売店の売上データをPOSシステムで管理しています。各店舗・商品毎の細かな分析データをもとに、委託事業者さまと連携し効率的な店舗運営や新規メニューの導入を行っています。また、委託事業者さまとの精算業務も本システムを活用し、適正に行っています。

衛生管理

お客様の食の安全を守ることは、本事業にとって最優先される業務です。保健センターや民間の衛生機関とも連携し、札幌ドーム内で販売する飲食物の衛生管理の徹底を図ります。また、貴市と「さっぽろ食の安全・安心推進協定」を締結している「札幌ドーム飲食事業者協議会（当社と委託事業者さまとで結成）」では、今後も下記のマイルールを遵守し、食の安全を守ります。

[札幌ドーム飲食事業者協議会 マイルール]

会員各社は、5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）を徹底し売店厨房等の良好な環境の保持に努めます。

会員各社は、食材の適切な温度管理や、異物混入を防ぐための点検を徹底します。

会員各社は、従業員の健康管理や身だしなみの確認を行い、従業員一人一人の衛生意識向上と徹底に努めます。

会員各社は、札幌ドームに来場するお客様に安心していただける「安全」な商品の提供とサービスの向上に努めます。

なお、売店施設や弁当工場の立入検査・販売商品の抜取検査を定期的に行って衛生状況の確認、指導するとともに、店舗・売店内のグリストラップ（油脂分離阻集器）や給排気口の清掃等についても指導を行い、衛生管理の徹底を図ります。

新型コロナウイルス感染症対策

2020年2月から売店事業者さまと協力し、以下の新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら飲食サービスの提供に努めています。緊急事態宣言やまん延防止等重点措置期間等における飲食サービスの経験・ノウハウを活かしながら、今後のwithコロナ時代において、安心・安全なイベント開催ができるよう、主催者や行政のガイドラインに沿いながら来場者サービスを展開していきます。

1. スタッフの体調管理を行っています
2. 飛沫防止シールドをレジ周辺に設置しています
3. スタッフはマスクと手袋を着用しています
4. 個包装もしくはふた付きのものを販売しています
5. 現金の受け渡しはコイントレーを使用します
6. 各店舗前にお並びいただける人数を制限しています
7. 一定の間隔を開けてお並びいただいている
8. 北海道コロナ通知システムを導入しています



レジ前感染対策



密回避策



掲示しているQRコード

商品企画・販促企画等

ラグビーワールドカップ2019大会、東京2020オリンピック競技大会などの国際大会を通して培った経験も活かしながら、今後もお客様の声やイベント主催者さまからのご要望を委託事業者さまと共有し、スタジアム限定の新規商品の企画を行っていきます。コンサドーレ応援メニュー・弁当等のスタジアム限定メニューを販売するほか、売店と共同で販売促進企画等を行うことで、ご来場されるお客様に札幌ドームならではの食の楽しさをご提供し、満足度向上を目指します。

◆スタジアム限定 コンサドーレ太鼓判メニュー・コンサドーレ必勝弁当など



◆売店共同販売促進企画等

2021年 スタッフおすすめグルメ



2021年 ワンコインメニュー



プロモーション

各売店の位置や販売するメニュー等の情報を館内グルメMAPとして掲出したり、ウェブサイトでのグルメ専用ページや公式SNS等を活用し、積極的にお客さまへ情報発信していきます。



サービス向上に向けた取り組み

札幌ドームを訪れるお客さまに、気持ちよく飲食を楽しんでいただけるように、アルバイトを含め、スタッフの衛生意識の向上、サービスの強化に取り組みます。

◆スタッフハンドブック

身だしなみや手洗い方法、札幌ドームで働く心構えなどを記載した「スタッフハンドブック」を製作し、全スタッフに配布しています。2023年からはコンサドーレボランティアスタッフにも活用いただける内容へバージョンアップし、主催者と一体感のある来場者へのホスピタリティを実現していきます。

◆衛生検査・講習会

外部の専門機関に委託し、衛生管理向上のためのスタッフ講習会をオンライン化も推進しながら定期的に開催しています。

◆サービス状況調査

2021年から、社員および売店事業者同士による調査方式へ変更することでコスト抑制に努めながら、サービス状況調査を継続しサービスレベルの維持に努めています。

◆従業員満足度向上に向けた取り組み

お客さまからいただいたお褒めの言葉や、サービス状況調査での優秀店などをスタッフ控室付近に掲出し、スタッフのモチベーション向上に努め、すべてのスタッフが誇りをもって働ける環境づくりに努めています。

キャッシュレス化の推進

2017年から、館内の飲食・物販売店、総合案内所において、簡単かつスピーディーなお支払い手段として電子マネー（QUICPay+、iD）のサービス利用を開始し、その後もSAPICA、交通系、WAON、nanaco、Edyといったブランドを追加、決済サービスの拡充を行ってきました。今後も利便性が高く、お客さまに喜ばれるサービスの拡充を図ってまいります。

各種電子マネーお使いいただけます。



2 物販事業

イベント開催日以外にも、観光で札幌ドームにご来場されるお客様が、ご来場の記念、想い出となるようなお土産商品を販売いたします。

イベントスケジュールや観光シーズン等を考慮して、お客様のニーズを反映した商品展開に努め、フランチャイズチームやイベントと連携した札幌ドームならではの商品企画・販売にも取り組みます。また、サービス向上のためのスタッフ教育を行うことでお客様の満足度向上と併せて収益向上にも繋げていきます。

お土産販売

観光などで来場されるお客様へお土産商品を販売いたします。お土産の定番であるお菓子土産や札幌ドームオリジナル商品を取りそろえ、お客様のニーズに応えます。

イベント来場者のニーズに併せた商品展開

イベント開催日にはイベントのジャンルと客層に併せ、ご来場者のニーズにお応えする商品を取り揃えて販売を行います。

オリジナル商品の創出

観光でお越しのお客さま向けにお求めやすい価格でお菓子商品をご用意し、来場者満足度の向上に努めます。また、ご来場の記念になるようなオリジナル商品を企画開発いたします。また、フランチャイズチームに対しては今までの商品開発のノウハウを活かし新規商材を企画提案してまいります。

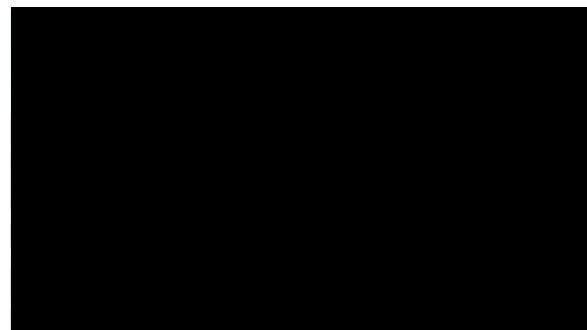


スタッフ接客レベル向上への取り組み

スタッフ教育の一環として、日々のミーティングでの挨拶や接客態度への指導を行うほか、イベント情報などについても都度情報を共有して質の高いサービスをご提供できるように努めます。

イベント物販管理

イベント主催者さま持ち込みの物販については、担当する事業者と連携して、効果的な販売場所・方法等のアドバイスや並び列に対する安全確保について指導します。また、適正な取り引きに向けて、持ち込み商品の検品・棚卸を実施します。



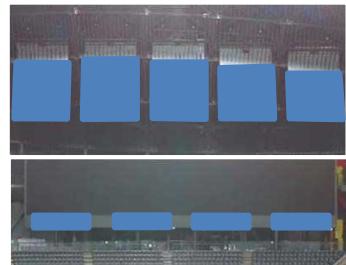
3 広告事業

札幌ドームの広告媒体としての価値を最大限に活用して、企業の皆さんに高い広告価値をご提供することで適正な対価を得ます。高い収益性により、当社の安定経営に寄与します。

販売枠

下記販売枠の販売管理を行います。

- ◆吊下げ・大型映像装置・ボウブリッジ壁面広告 28枠28面
- ◆1階コンコース広告 26枠40面
- ◆2階コンコース広告 20枠52面



広告看板制作管理

「広告掲出基準」を定めて、公の施設としての品位や設置目的に反しないよう適正な審査を行った上で、広告看板の制作を行います。また、イベントの性質や主催者さまからのご要望に応じて、広告看板の書き換えや遮蔽を行います。



バックスタンドLED・ゲートLEDの新設

北海道コンサドーレ札幌との事業連携の一環として、バックスタンドフェンス及び南北ゲート5箇所へLED看板を新設し、更なる広告収益拡大を行います。



広告価値の調査分析

広告セールス時に必要に応じて、来場者数やマスメディアへの露出検証・分析により、価格の検証や新規広告媒体設置検討等の材料とします。

ネーミングライツ事業

新たな広告収益事業としてネーミングライツ（命名権）事業を実施します。札幌ドームの広告事業にて培ったノウハウを活かした企画提案や各イベント主催者、指定広告代理店等との信頼関係を「強み」とした営業活動を実施します。ネーミングライツの広告価値の最大化を目指し、掲出企業とwin-winの関係を構築することで安定的な収益確保を目指します。

4 セールスプロモーション協力事業・3Dデータ貸出事業

イベント開催時等において、貸館の利用目的以外で第三者等が臨時的に、物品の販売や広告物の配布などのセールスプロモーション（販売促進）の実施を希望する場合、内容を精査したうえで、実施場所を提供します。なお、当該行為の実施にあたっては、来場者の動線の妨げにならないよう実施場所を調整するなど運営面でのサポートを行います。

また、企業さまがプロモーション等で札幌ドームの画像・映像・3Dデータの利用を希望する場合、お貸出し等の対応も行っています。

5 友の会組織（札幌ドームメンバーズクラブ）事業

友の会組織である「札幌ドームメンバーズクラブ」（現会員数約1.2万人）を開業時より継続して運営しています。当会員は重要な顧客であり、イベント告知やチケットの販売・無料宅配等のサービスを積極的にご提供してイベントの来場促進に繋げるほか、札幌ドームのファンの皆さまであると認識して、当社独自の優待サービスをご提供して満足度向上を図り、会員組織維持向上に努めます。

株式会社ニッセンレンエスコートとの提携

カード会社との連携により、チケット購入を効率的に行えるサービスやカード会社のサービスをご提供することが可能です。また、カード会社によって、当会員の個人情報を高いセキュリティレベルのもとで管理しています。



票券管理業務

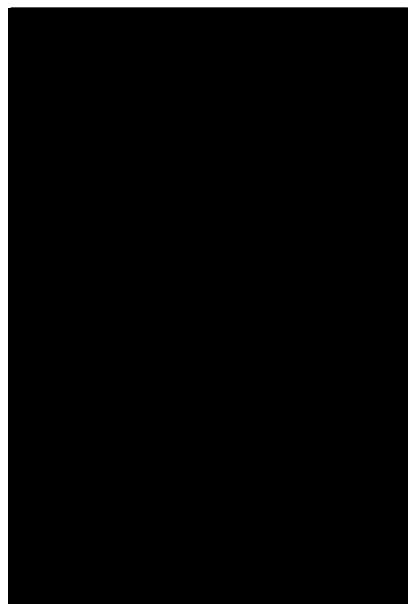
イベント主催者・各プレイガイドとの配券管理から精算処理までの一連業務により、当会員にイベントチケット・前売り駐車券を販売いたします。当社は本業務を遂行するための十分な実績とノウハウを有しています。

会員優待サービスのご提供

イベントへの来場促進および会員満足度向上のため、会員優待サービスをご提供します。

◆通年でご提供する特典（2022年9月1日現在）

- イベントチケットおよび前売り駐車券の先行販売・割引販売（一部取扱いのないチケットもあります。）
- 会員限定商品の販売（ドーム商品券・ビールチケット・ソフトドリンクチケット・オリジナルグッズ等）
- 購入チケット等の無料発送
- 会報誌「DOME PRESS」Web版による情報発信
(各チケット等の販売情報提供を随時行っています。)
- イベントが開催されていない日の駐車場無料
- ドームツアーでの優待価格
- 展望台利用料割引
- トレーニングルーム利用料割引
- ドーム内でのカード利用にポイント2倍付与
- ドームオリジナルカレンダープレゼント（一部会員）



◆特別企画等による特典

北海道コンサドーレ札幌戦におけるスポンサー権益により、試合前の特別ツアーやフラッグキッズ（Jリーグ）等に参加いただける権利を会員限定でご提供します。

◆その他会員さまの満足度向上と会員数の維持向上に向けて様々な企画を検討します。

6 ドームツアーア事業

専門スタッフが札幌ドームのバックヤードを案内するドームツアーア事業は、指定管理業務の一つである展望台事業と併せて当社の観光事業と位置づけて運営しています。札幌ドームの魅力を効果的にお客さまにお伝えする本事業は、年間を通じて幅広い集客を促進します。

事業概要・料金

試合やコンサートなどのイベントがない日に、約50分をかけて、専門のツアーアテンダントの案内で憧れの選手たちが使用するロッカールームやブルペンなど、普段見ることのできないドームの裏側へご案内します。

◆利用料金

| 区分 | | ドームツアーコード | 展望台との共通券 |
|--------|-------|-----------|--------------------|
| 大人 | 高校生以上 | 1,050円 | 1,250円 |
| | 団体 | 850円 | 1,050円 |
| 小人 | 小中学生 | 550円 | 700円 |
| | 団体 | 450円 | 550円 |
| 4歳～就学前 | | 550円 | ドームツアーコードをご利用ください。 |
| | 団体 | 450円 | |

※展望台との共通券を販売します。
※団体料金は20名以上で適用します。
※3歳以下は無料です。
※各種障がい者手帳をお持ちの方は、
団体料金を適用します。
※札幌ドームメンバーズクラブ会員は、
カード提示でそのグループは団体料金
でご利用いただけます。

スケジュールの調整

イベント日程により、営業スケジュールが左右されるため、確実な日程調整を行います。

広報・問合せ対応・予約受付

ウェブサイトをはじめ、当社広報媒体を通じて営業スケジュールを公開し、専門のスタッフがお問い合わせを受け付けます。また、20名さま以上の場合は予約を受け付けます。

ツアー内容の充実

ブルペンで実際にボールを投げていただける体験や選手が使用した用具などにも触れていただく機会を探り入れるなど、参加型ツアーとして魅力向上に努めています。ガイド内容も随時新しい情報に更新して対応しています。

新ツアーコースの創出

当社のSDGs活動に関連するツアーや、野外アート作品を巡るツアー、敷地内の野鳥・植物・昆虫などをテーマにしたツアーなど今後様々なツアー企画の創出に努めて、話題性と集客の両立を目指します。

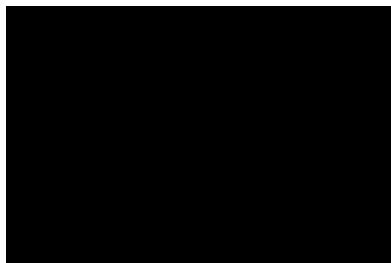
お体の不自由なお客さまなどのサポート

車いすをご使用になるお客様が気持ちよくドームツアーに参加いただけるよう、サブスタッフを同行させて、ご移動をサポートします。



総合学習等の教育支援

学校団体からのご要望に応じて、ドームツアー実施時間内でお子さまからの質問を受け付けるなど、できる限りのご協力を行います。きめ細やかな対応で、お子さまから御礼のお手紙をいただくこともあります。



テクニカルツアー

行政や企業等の技術的な研修に貢献できるよう防災やエネルギー、環境等の施設設備管理に関わる専門的な内容について、当社の施設部門のスタッフがご案内するツアーを実施します。

7 コインロッカー事業

遠方からいらっしゃるお客様や、座席をゆったりとご利用されたいお客様のため、総合案内およびコンコース等に、コインロッカーを設置しています。お客様のニーズに対応できるよう、大・中・小の3種類のサイズのコインロッカーを用意し、館内設置のコインロッカー専用MAPにより、お客様の利便性を高めています。

◆利用料金

1回300円～500円 ※利用料金のほかに預り金100円が必要（利用後にご返却）
※利用中は何度でも入れ自由

◆設置場所

- 総合案内（北ゲート3横）①
- 敷地内エレベーター横（ドーム歩道橋～北ゲート間）②
- 1階コンコース（5ヶ所）③～⑦



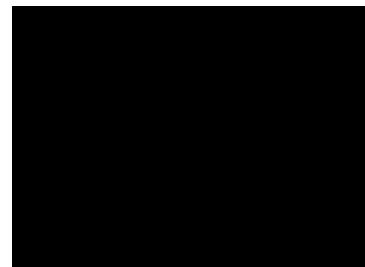
8 トレーニングルーム関連事業

西棟会議室等を利用した運動教室の運営のほか、冬場でも長距離をランニングできる場所として3階コンコースを開放するナイトラン事業等を実施します。指定管理業務であるトレーニングルーム事業と連携して運営することで、市民の皆さまが多様な健康づくりメニューを選択できる環境をご用意し、健康増進を促進します。

運動教室事業

西棟会議室等を利用してステップ運動やバランスボールを使った運動教室を運営します。本事業は、お客様のご要望を受けて開始した事業であり、お客様の声や日々トレーニングを指導するトレーナーの声を活かして実施内容を決定します。利用料金にトレーニングルーム利用料金を含み、継続したトレーニングに繋げていただくよう配慮します。

- ◆料金 ○一般 1,000円
 ○65歳以上・高校生 800円
- ◆実施内容 トレーニング初心者やご高齢のお客さまでも
 参加できる内容等



ナイトラン事業

ランニング愛好者の冬期間のトレーニングとして、またトレーニングルームをご利用されるお客様がより楽しく健康づくりに取り組めるよう、3階コンコースをランニングコースとして開放する事業を実施します。札幌市内の屋内ランニングコースとしては、最長の1周716mを走っていただける環境をご提供するため、イベントや観光事業等との日程調整等を行います。

- ◆実施日 冬期間（イベント開催日等を除く）
 ※2021-2022シーズンは、28日間実施
- ◆実施時間 18時00分～21時00分
- ◆料金 ○一般 350円 ○65歳以上・高校生 250円



パワープレート事業

2013年から、前後・左右・上下の3D高速振動によってあらゆるエクササイズ効率を飛躍的にあげることで世界的に注目されているトレーニングマシン「パワープレート」をトレーニングルームに導入しています。

- ◆利用料金 15分 500円
 ※トレーナーが、お客様の要望に合わせた
 メニュー、ポーズの指導を行います。
 ※セルフトレーニングは15分300円



9 ゆきひろば関連事業

冬期間に札幌ドームの敷地内を開放し、敷地の有効活用を図り、ドームに親近感を持っていただくとともに、近隣にお住いの方々や観光で来られたお客さまへ雪遊びや冬のスポーツに接する場と機会を提供し、健康増進にも貢献します。

ゆきひろば事業

屋外サッカー練習場に面した芝生スタンド斜面を活用して「ゆきひろば」を設置し、一般に広く開放します。そりやゴムチューブ、雪上ストラックアウト、雪上キックターゲット、雪上ラグビー、ミニスキーなど気軽に遊べる場を提供します。（そり・チューブ無料貸出）2019年から、スノーラフティング（有料）も開始し、スリルあふれる体験を提供しています。

- ◆期間 1月初旬～2月末
- ◆営業日 1シーズン30～50日程度 ※イベント等により変動
- ◆営業時間 10:00～16:00
- ◆利用実績 2019年度 4,269人、2020年度 11,177人、2021年度 10,035人



クロスカントリースキーコース等事業

冬期間の施設の有効活用と市民サービスの向上を目的として、敷地内にクロスカントリースキーコースと初心者向けの歩くスキーコースを設置しました。2021年から歩くスキーセットのレンタルも開始し、お客さまは手ぶらで歩くスキーエクスペリエンスができるようになりました。

10 自主備品貸出事業

イベント主催者さまへのサービス向上のため、当社自主備品（サーモグラフィー、体表面温度チェッカー、移動式シンク等）の貸し出しを行っています。

11 自主イベント事業

当社が企画運営する自主イベントは、これまでの指定管理業務や自主事業の運営により蓄積してきたノウハウを存分に活かし、札幌ドームの設置目的である「スポーツの普及振興および市民文化の向上ならびに地域経済の活性化に寄与する」ことを自ら実現できる場と考えています。当社は、施設の特性を十分に理解するとともに、市民の皆さまが札幌ドームに期待する役割を最も認識していると自負しており、全部門が協力して、札幌ドームならではのイベントをご提供し、札幌ドームの価値を高めていきます。

6時間リレーマラソン

開業10周年の2011年から貴市に後援をいただき、札幌市スポーツ協会さま、テレビ北海道さまと共同で開催しているイベントです。札幌ドームの屋内アリーナと屋外を組み合わせた特設コースを15人までを1チームとして、たすきを繋いでリレーします。プロの選手たちと同じ場所で、市民の皆さまが主役になっていただけるイベントを開催することで、スポーツや健康づくりへのきっかけを生み出し、また、職場や学校単位のほか、ランニング仲間、家族など、様々なチームでご参加いただくことで、スポーツによる交流をも生み出します。

- ◆主催 札幌市スポーツ協会、テレビ北海道、札幌ドーム
- ◆後援 札幌市、札幌市教育委員会
- ◆コース内容 1周2km（普段通行できない搬入路を使用して、アリーナと屋外を繋ぎ、札幌ドームならではのコースをご用意します。）



- ◆参加費 5名20,000円～15名49,500円（2022年）
- ◆参加人数 2018年：1,145チーム 10,033名
2019年：1,035チーム 8,767名
※2020年、2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

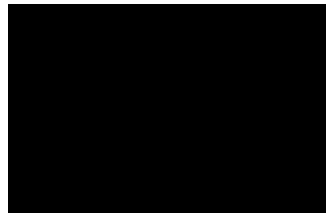
サッポロモノヴィレッジ

開業15周年の記念事業として、ハンドメイド作品の展示・販売イベントを、2016年に初めて開催しました。近年急増する道内外から参加するハンドメイド作家による、雑貨・アクセサリーをはじめ、イラスト、クラフト・工芸などのオリジナル作品【モノ】が札幌ドームに集結した北海道最大のハンドメイドフェスティバルです。現在では自主イベント事業の柱のひとつとなっており、2022年からは年2回開催とし、札幌ドームから新しい文化の創出に寄与するよう、継続的に開催し、道民、市民に楽しんでいただけける機会を提供します。

- ◆主催 テレビ北海道、札幌ドーム
- ◆後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社
- ◆料金 当日700円 前売600円（2022年実績）
- ◆来場者数 2018年：38,440名 2019年：33,344名 2020年：開催中止
2021年：18,702名 2022年：10,836名



北海道最大のハンドメイドフェスティバル
サッポロモノヴィレッジ
2022.1.22±/23 札幌ドーム

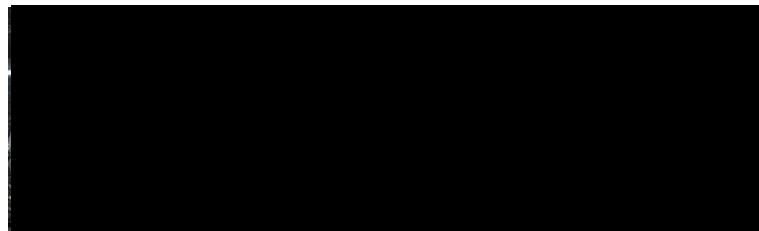


ふわふわアドベンチャー

大型工アー遊具を大規模にご用意し、冬期間のお子さまに思い切り体を動かしていただけるイベントを開催します。主に若手社員のアイデアを活かしながら、2002年1月から継続して開催（2021年、2022年は開催中止）しており、当社の自主イベント運営のノウハウを培ってきたイベントといえます。

子どもたちに人気のテレビ番組とのタイアップやヒーローショーの開催、札幌ドームのスタンド席への滑り台の設置など、新たな魅力のご提供を続けた結果、毎年多くのご来場をいただけようになり、現在では収益事業に成長しています。

- ◆主催 テレビ北海道、札幌ドーム
- ◆後援 札幌市、札幌市教育委員会、北海道新聞社
- ◆料金 入場無料、アトラクションごとに1回300～500円（2020年実績）
- ◆来場者数 2018年：29,273名 2019年：28,561名 2020年：48,605名
2021年、2022年は開催中止



大ほっかいどう祭

これまで多くの市民・道民の皆さんに支えられ、ともに歩みを進めてきた企業として、開業21年目を迎える今こそ、地元への感謝と応援をする時と考え、北海道の誇る「マチ「食」「文化」「産業」「人」が集まり、その魅力を再発見し、盛り上げ、活性化する「道民による道民のためのイベント」を2022年に初めて開催いたしました。札幌ドームという大きな場所だからこそ、大きな北海道の魅力を詰め込むことを可能にし、ご来場いただいただけで北海道を感じることができるイベントとしました。2023年以降も継続的に開催することで、北海道最大のお祭り、新たな定番イベントとなることを目指しています。

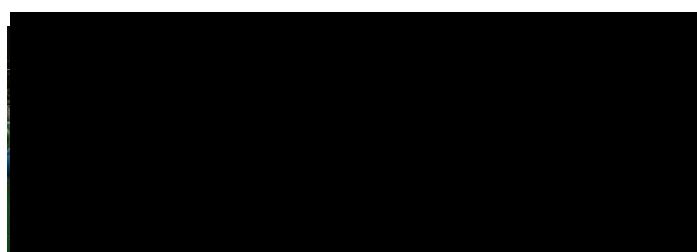
- ◆主催 札幌テレビ放送、札幌ドーム
- ◆後援 北海道、札幌市、札幌市教育委員会
- ◆料金 当日700円 前売600円（2022年実績）
- ◆来場者数 2022年：23,730名



スポーツバイキング（アリーナ無料開放イベント）

札幌ドームをより身近に感じ、楽しんでいただけるイベントとして、アリーナ無料開放イベントを開催しています。2012年から実施しているアリーナ無料開放「スポーツバイキング」は、2013年から豊平区とのコラボイベントとして定着しています。プロスポーツチームのアトラクションコーナーや、フリースペース、運動教室など、家族連れを中心として、多くの皆さんに運動や健康づくりの機会を提供します。

- ◆主催 豊平区、札幌ドーム
- ◆料金 入場無料
- ◆来場者数 2018年：5,297名 2019年：4,381名 2020年、2021年は開催中止



1.2 地域連携・社会貢献事業

市民道民の皆さん、地域の皆さんに親しまれる施設であるために、当社では、地域連携や社会貢献活動に力を入れています。

これからも、地域の一員としてともに成長していくとともに、まちの活性化の一助として様々な地域連携・社会貢献事業を実施します。

地元町内会や地域との連携活動

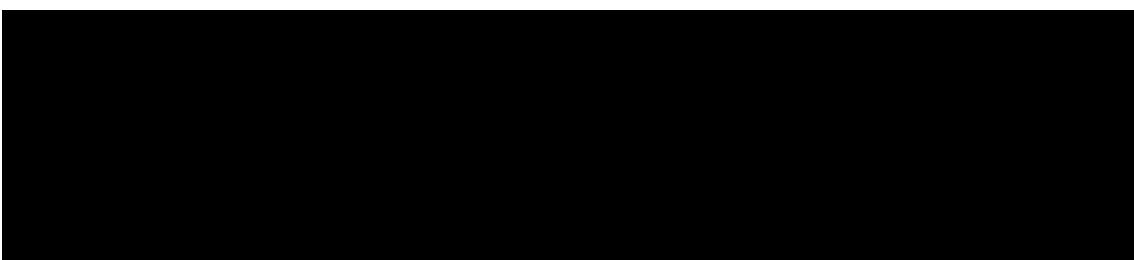
近隣小学校展望台見学＆環境啓発事業

地域貢献活動の一環として、2013年から札幌ドームの近隣に位置する小学校の児童の皆さん（5年生）を対象とした展望台見学および環境啓発事業を実施しています。

展望台からお子さまが暮らす街の様子と、白旗山からつづく自然の両方を見ていただいた後、スタンド席にて札幌ドームの環境への取り組みについて社員が説明します。

本事業を継続することで、近隣の小学校に通うお子さまのすべてを展望台にご招待することができます。お子さまにとって、間近にある札幌ドームがより身近なものとなり、また、自然環境の大切さを考えるきっかけとなることを期待しています。

2013年から2022年までの参加者は延べ3,156名となりました。



職場体験・就労支援への協力

近隣中学校の職場体験（スタンド席等の清掃体験）や北海道コンサドーレ札幌さまによる、障がいのある方の就労支援（ごみの分別広報案内業務等）にご協力しています。

その他の活動

◆クリーン・アップ作戦

社員による札幌ドーム周辺のごみ拾い活動を2012年から継続実施しています。

◆花ランド事業

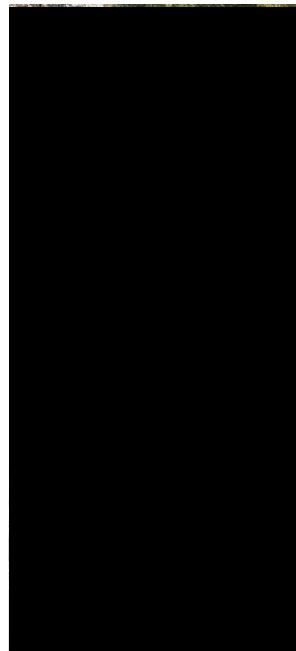
地域を花で飾る事業に参加し、札幌ドーム周辺での花植えや維持管理作業等を町内会の皆さんと一緒に進めています。

◆冬季ボランティアサポートプログラム

地域の皆さんとともに周辺歩道の砂まきなどを行うことで、安全で快適な冬の歩行環境を実現しようと北海道開発局が実施するプログラムに参加しています。

◆東月寒まちづくり協議会「童夢」主催の交通安全街頭啓発に参加しています。

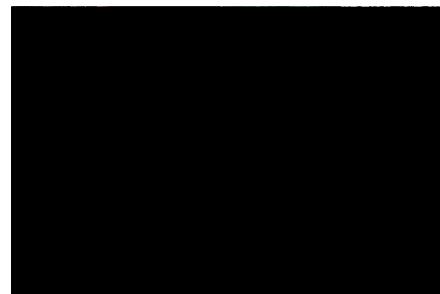
◆町内会清掃活動、地域夏祭り等に協力しています。



アマチュアスポーツや北海道を代表するイベント等の支援

アマチュアスポーツ支援

札幌ドームで開催されるアマチュアスポーツ大会の利用料金減額や運営補助のほか、CSR活動による18歳以下の主要アマチュアスポーツ競技団体への練習場所のご提供などにより、引き続きアマチュアスポーツを支援してまいります。



みらいを担う子どもたちのために～子どもたちの夢をみらいに繋ぎます

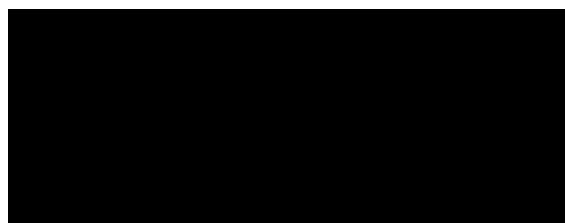
未来を担うこどもたちの想像力を育み、スポーツや文化への関心を高めるとともに、当社の地域貢献事業を継続して実施します。

[これまでの実績例]

○こども絵画展

小学生を対象とした「札幌ドームの思い出」をテーマとした公募絵画展で開業10周年の2011年に事業を開始しました。応募作品は札幌ドームに展示するほか、有識者を交えた審査を経て、入賞者については札幌ドーム内で表彰しています。
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2020年は表彰式を中止、2021年はオンラインで表彰式を実施しました。

- ◆主催 札幌ドーム
- ◆後援 札幌市、札幌市教育委員会
- ◆特別協力 北海道コンサドーレ札幌、
北海道日本ハムファイターズ
- ◆応募者数 2011年～2021年：計1,844名



応募いただいた
全作品を
札幌ドーム内の
通路に
展示します

○生き物探検隊

札幌ドームの自然環境の豊かさに実際に触れる機会を作り、札幌ドームへの理解を深めるとともに、生物多様性の大切さを学んでいただくため、2015年から、専門家のガイドのもと、小学生と保護者さまを対象とした鳥と昆虫の観察を行う自然観察会を実施しています。

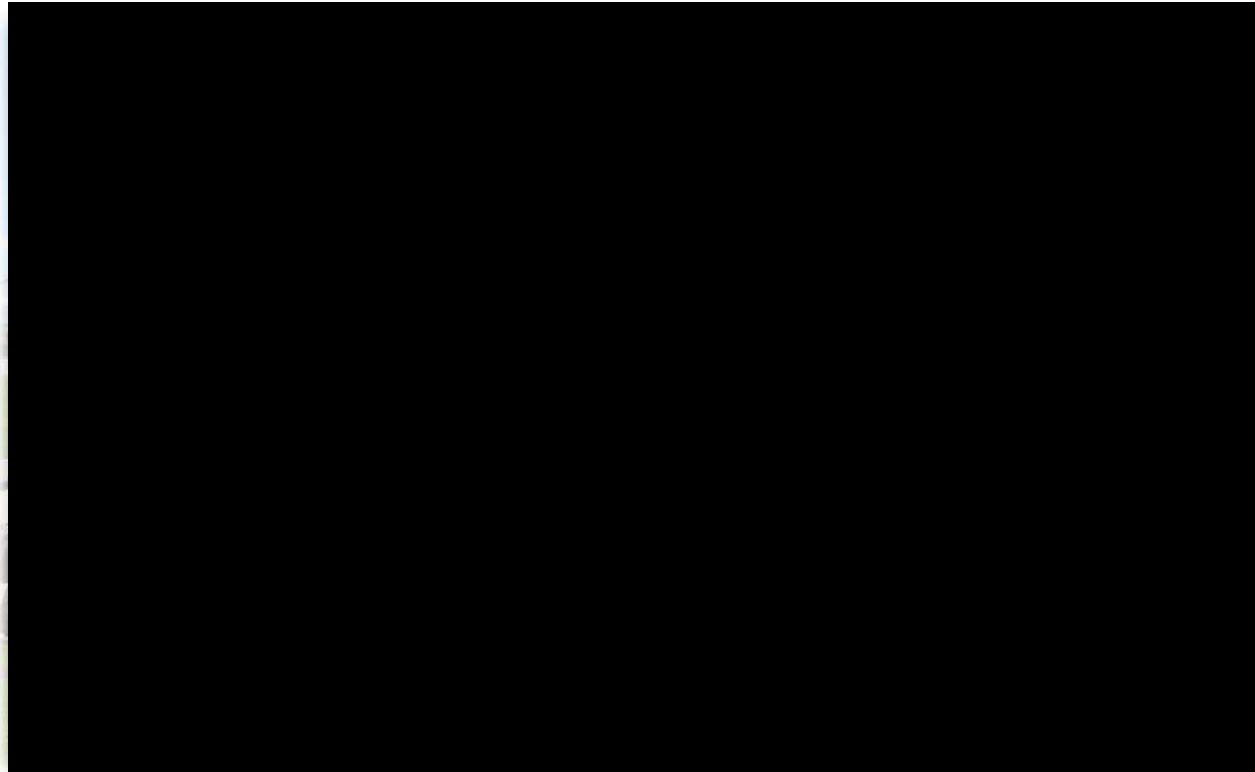
2022年は、北海道コンサドーレ札幌とのコラボ企画として開催しました。



おわりに



ご来場5,300万人を超えるお客様に感謝して、これからも誠実かつ確実な管理運営業務を遂行し、札幌ドーム指定管理者としての責務を果たしてまいります



私たちは、札幌ドームを舞台に活躍するプロスポーツ選手やアーティストの皆さま、イベントを主催される皆さま、観戦鑑賞のためにご来場される皆さま、観光で訪れる皆さま、札幌ドームのある街に暮らす皆さま、札幌ドームを支え、ともに働く委託事業者さま、株主さま、そのすべての皆さまに感謝し、これからも誠実かつ確実な管理運営業務を遂行し、札幌ドームの指定管理者としての責務を果たしてまいります。



**賑わい愛される施設
そして、信頼される企業へ**

2031年、開業30周年へ

